

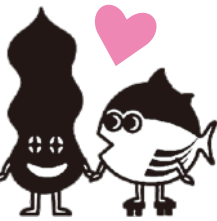
祝

昆布

コンカツ

鯉

結婚



枕崎鯉節と稚内利尻昆布が結婚式



▲結婚調印式のあと笑顔で握手する神園市長(左)、長岡秀人・出雲市長(中央)、工藤広・稚内市長(右)

3市長のコメント

稚内市 工藤広 市長

北海道というはご承知のとおり歴史の大変浅い都道府県のひとつです。稚内市のような若い町から、この神話の時代から歴史のあるこの出雲市において枕崎市と結婚の契りを結ぶことができ心から喜んでおります。この後も一昨年から友好都市、今日のこの契りということで一層枕崎市との交流を深めていくことはもちろん、せっかくいただいたご縁ですので出雲市とのご縁も大切に、力を合わせて何らかのお役に立てれば私ども大変喜ばしいと思っております。

枕崎市 神園征 市長

年12月にユネスコの世界無形文化遺産に「和食；日本人の伝統的な食文化」が認定されました。両市の特産品である利尻昆布と枕崎鯉節は日本食の基本であり、日本では古くから我々の食に欠かせない出汁の産地といった共通点があります。この事業は「人と人」とのコンカツのみならず「物と物」、「町と町」といった幅広いつながりをもった取り組みを官民一体となり行うことにより、稚内市、枕崎市のみならず縁結びのまち出雲市のイメージアップと活性化が図られるものと確信しております。今後とも末永いお付き合いをいただきますようよろしくお願いいたします。

出雲市 長岡秀人 市長

この度のご結婚本当におめでとうございます。また、晴れの日には仲人の大役をさせていただき心から感謝申し上げます。最初この話を聞いたときに凄い話だなと思いましたが、この短時間の間にすぐこれが実現するとは私も驚きました。このスピード感に両市の熱意の表れを感じました。枕崎市、稚内市の両市がこのご縁を大切にいただき、末永いお付き合いを、そして私も仲人として責任がありますので今後の行く末をしっかりと見守っていきたく、色んな形で交流させていただけたらなと思っております。



▲出雲大社での奉納のようす

枕崎市の「カツオ」と友好都市である北海道稚内市の「コンブ」との結婚調印式が2月19日、「縁結びのまち」島根県出雲市で行われました。

枕崎市と稚内市は、JR最北端・最南端の終着駅のある町として平成24年4月に友好都市盟約を結びました。

両市には出汁を取るのに不可欠な「鯉節」と「利尻昆布」が名産という共通点があります。それらを活用した事業を展開し、両市間の交流、新たな観光資源の発掘など、両市のイメージアップを図ろうと、昨年12月26日に官民が一体となった「コンカツ(昆鯉)プロジェクト」が設立されました。

プロポーズ

1月8日、プロジェクトの副会長である大茂健二郎商工会議所会頭をはじめとする5人の代表団が、事業の趣旨に賛同してもらおうと「プロポーズ」を行うため、稚内市を訪れました。

に署名し、両市発展のため、協力し合うことを誓いました。出雲市長からは、お祝いの品として両市長に縁結びの箸が贈呈されました。

調印式終了後には、出雲市特産の出雲そばを枕崎鯉節と稚内利尻昆布で取った出汁のつゆで食べました。3市の味がひとつになった最高の一品に、関係者は舌鼓を打ちました。

出雲市を加えた3市での連携

コンカツ(昆鯉)事業では、人と人の婚活だけでなく、「物と

突然のプロポーズでしたが、稚内市は快く受け入れてくださり、「婚約」成立となりました。

「縁結びのまち」出雲市で結婚調印式

調印式前日の2月18日、出雲市に到着した神園市長をはじめとする7人の訪問団は、稚内市の訪問団と合流。日御碕神社を訪れ、枕崎鯉節と稚内利尻昆布を奉納しました。

19日、両市関係者は調印式を前に出雲大社を訪れ、枕崎鯉節と稚内利尻昆布を奉納しました。奉納後は、出雲大社正門前とJR出雲市駅で引出物として鯉節バックや、おしゃぶり昆布などの無料配布が行われました。

調印式会場である出雲市役所に移動し、大勢の関係者が見守る中、新郎・カツオ(神園征・枕崎市長)、新婦・コンブ(工藤広・稚内市長)と仲人である長岡秀人・出雲市長が「枕崎鯉節・稚内利尻昆布コンカツ婚姻書」

物」、「町と町」といった幅広い取り組みを行うことを目標としています。

出雲大社の奉納の儀により「パワー」をもらった枕崎鯉節と稚内利尻昆布、そして縁結びのお札を両市に持ち帰り、「縁起のいい町」としてさまざまなイベントやPR活動が行われる予定です。

また、今回仲人を務めた出雲市との交流も深めていくことで、観光や産業などの活性化の起爆剤になることが期待されます。

問合せ 水産商工課商工振興係 TEL 721111(内線421)